



© Keita Osada

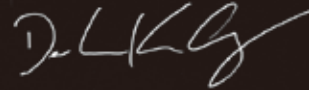
室内楽は私の音楽活動の中で必要不可欠なものです。今回このシリーズを通して素晴らしい音楽家を迎え、様々な編成で室内楽を演奏できることはとても嬉しい事です。第1回目はクラシカルにヴァイオリンとピアノのデュオをお届けすることにしました。今回フォーカスを当てるのは、似通った雰囲気を感じさせつつ、表現の仕方はそれぞれ異なり同時代を生きた2人の音楽家、シューマンとブラームス。

シューマンのヴァイオリン・ソナタは、とても奥深くそして濃厚な作品です。今回共演するエリックはシューマンのスペシャリストとして知られており、より深い音楽の世界に入り込めるのではないかと期待しています。また、ブラームスはシューマンの音楽を愛し、シューマンから大きく影響を受けたことでも知られています。彼の家をブラームスが訪れ、クララ・シューマンを交え食卓を囲み、共に時間を過ごしていたという友人関係は、お互いにとって貴重なものであったらと思うます。

エリックとはサロン・ド・プロヴァンス国際室内楽音楽祭で出会い、20年近くの付き合いになる最も親しいピアニストの1人で、世界中の様々な場所で共演を重ねてきました。一緒にいると常に心温まり、自然と笑顔が溢れてしまう、人間的にも、もちろん音楽的にも魅力的な人です。今回そんなエリックと私で、互いに尊敬し合う友人同士であったシューマンとブラームスの作品が演奏できることを楽しみにしています。

室内楽は、クラシック音楽の原点であり、多くの作曲家が作品を残しました。私にとっても大切なものだからこそ、このプレミアム室内楽シリーズを始めるにあたって、今後どのような編成や曲でプログラミングしていくか、考えを巡らせることにわくわくしております。

榎本大進



大進と知り合って20年近くになります。ブラームスのクラリネット五重奏曲をフランスで演奏したのが初共演でしたが、その素晴らしく温かみのあるレガートと輝くような音色が、すでに彼を比類なき存在にしていたことを覚えています。以来、彼とは南仏の音楽祭やル・ボン国際音楽祭など様々な場所で室内楽のコンサートやレコーディングをしてきました。

大進は周囲の人に対して常に気配りを忘れず、気分良くさせてくれます。また、演奏においても、彼は方向性を示すと同時に、共演者がどう感じているかに注意を払います。

ブラームスとシューマンは親しい友人同士でしたが、彼らの音楽は大きく異なります。音楽は人生と共に動いて行きます。ブラームスの音楽からは達成感を、シューマンの音楽からは人生がまだ続いて行くという感覚を得られます。演奏者にとってはどちらの音楽も刺激的な挑戦で、音楽はコンサートの度に再創造されるべきものなのです。

エリック・ル・サージュ



榎本大進 (ヴァイオリン) Daishin Kashimoto, Violin

フリッツ・クライスラー、ロン＝ティボーの両国際音楽コンクールでの1位など、5つの権威ある国際コンクールで優勝。マゼール、小澤征爾、ヤンソンス、P.ヤルヴィなど著名指揮者のもと、国内外のオーケストラと共演。室内楽でも、クレメール、堤剛などと共演を重ね、現在、兵庫県で「ル・ボン国際音楽祭〜赤穂・姫路」を音楽監督として率いている。主なCDに、ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ全集（ワーナー・クラシックス）など。2010年にはベルリン・フィル第1コンサートマスターに正式就任。ソリスト活動と並行し、ヨーロッパ楽壇の最前線で活躍している。

これまで、恵藤久美子、田中直子、ザハール・ブロン、ライナー・クスマウルに師事。

使用楽器は、株式会社飛鳥（志村晶代表取締役）から貸与された1744年製デル・ジェス「ド・ベリオ」。

エリック・ル・サージュ (ピアノ) Eric Le Sage, Piano

南仏のエクサン・プロヴァンスに生まれ。パリ国立高等音楽院を17歳で卒業後、ロンドンでマリア・クルチオに師事。1985年ボルト国際および89年ロベルト・シューマン国際第1位、90年リーズ国際第3位などのコンクール受賞歴を持つ。

ロサンジェルス・フィル、フィラデルフィア管、トロント響、南西ドイツ放送響、ドレスデン・フィル、エーテボリ響、ロッテルダム・フィル、読響、都響を含む数々のオーケストラと共演。優れた室内楽奏者としても知られ、1993年よりサロン・ド・プロヴァンス国際室内楽音楽祭を主宰。プーランクの室内楽作品全集、シューマンのピアノ曲・室内楽作品全集（2010年ドイツ・レコード批評家賞受賞）、フォーレの室内楽作品全集を含む多数のCDをリリース。フライブルク音楽大学教授。

榎本大進&エリック・ル・サージュ 2023年日本公演 その他の全国スケジュール

- 1/27(金) 福岡シンフォニーホール (問)0570-033-337
- 1/28(土) 愛知県芸術劇場 コンサートホール (問)052-588-4477
- 1/29(日) 所沢市民文化センターミュージズ アークホール (問)04-2998-7777
- 2/1(水) 住友生命いずみホール (問)06-6944-1188

Twitterでフォローする @japan_arts

<特別割引チケットのご案内>

(ジャパン・アーツびあホールセンター及びジャパン・アーツびあオンラインチケットで受付、横浜公演は神奈川芸術協会でも受付)

●学生席 (各ランクの半額/座席の指定が可能です)

残席がある場合に限り、2022年10月15日(土)10:00より受付を開始いたします。※社会人学生を除く公演当日25歳までの学生が対象です。当日は学生証をご提示の上、ご入場ください。(学生証がない場合、一般価格との差額を頂戴いたします。)

●シニア・チケット=65歳以上の方はS.A席をシニア料金でお求めいただけます。

●車椅子の方は、本人と付き添いの方1名までが割引になります。(東京公演はジャパン・アーツびあホールセンターで、横浜公演は神奈川芸術協会で受付)

●子供文化芸術支援事業対象公演 18歳以下無料

対象：公演当日、小学校1年生～18歳以下

申込方法等詳細はジャパン・アーツ(東京)、神奈川芸術協会(横浜)ホームページの当公演ページにて、10月中旬以降に発表します。

<次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお求め下さいませ>

- ①やむを得ない事情により、出演者・曲目・曲順等が変更になる場合がございます。公演中止を除き、お問い合わせいただきましたチケットのキャンセル・変更等はできません。
- ②いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。
- ③演奏中は入場できません。
- ④未就学児の同伴はご遠慮下さい。また、就学児以上のお子様もご入場には1人1枚チケットが必要です。
- ⑤全指定席です。指定の座席にてご鑑賞下さい。
- ⑥場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は、固くお断りいたします。
- ⑦ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。
- ⑧他のお客様の迷惑となる場合、主催者の判断で退場いただく場合があります。
- ⑨公演実施の可否は新型コロナウイルス感染状況を見極めて慎重に判断させていただきます。
- ⑩会場内ではマスクを着用ください。